

札幌皮膚病理研究所 NEWS



2004年9月号

今後のスケジュール

2004,9,4~5
セミナー；皮膚病理診断コンセンサスセミナー
場 所；札幌皮膚病理研究所

2004,9,8
症例検討；旭川医科大学皮膚科カンファレンス
場 所；旭川医科大学皮膚科

2004,9,16~18
学会参加；The International Society of
Dermatopathology
場 所；ポルトガル

2004,10,2~3
CPC座長；第68回日本皮膚科学会東部支部学会
場 所；朱鷺メッセ（新潟市）

学 会 発 表

学会名：第20回日本皮膚病理組織学会

開催日：2004.7.24

発表者：塩見 達志、山口 淳、木村 鉄宣

演題名：左膝部腫瘍の1例

発表形式：一般演題

発表者：保科 大地（北海道大）、有田 賢、安藤佐土美
芝木 晃彦、木村 鉄宣、小林 仁、清水 宏

演題名：皮膚原発 blastic NK cell lymphoma の1例

発表形式：一般演題

◆病理診断クイズ 投稿募集◆

ホームページにて開催中の第5回病理診断クイズでは皆様のご投稿をお待ちしております。9月30日までとなっておりますので、診断を予想してご投稿ください。

～各種お申込・お問い合わせは当研究所まで～

札幌皮膚病理研究所

〒001-0018

札幌市北区北18条西3丁目21-793

TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842

E-mail office@sapporo-dermpath.com

Website www.sapporo-dermpath.com

今月の症例



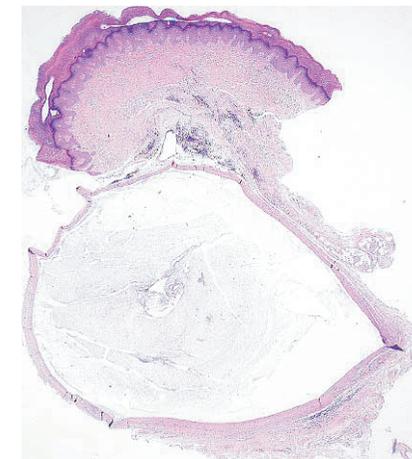
Ganglion

62才、女性

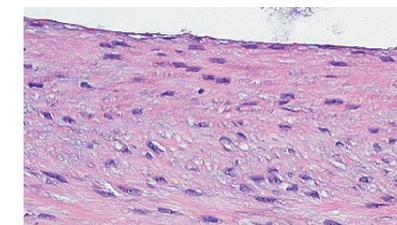
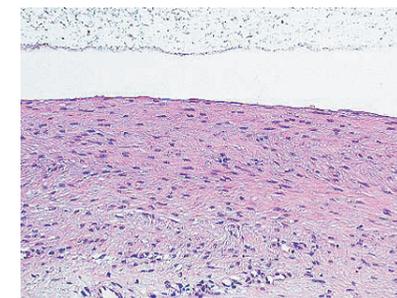
生検部位：左母趾

臨床診断：ガングリオン

病理診断：Ganglion



皮下に嚢胞形成が認められる。



嚢胞壁には明らかな上皮の lining はなく、膠原線維で構成されている。また嚢胞内にはムチン沈着を認める。

What's new?

皮膚病理診断ワークショップ

皮膚軟部組織腫瘍病理診断のガイドライン作成

8月7日(土) エーザイホール(東京)にて



皮膚病理指導医養成講座 第3回目

8月21日(土) 山王病院 山王ホールにて



皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座(東京会場)

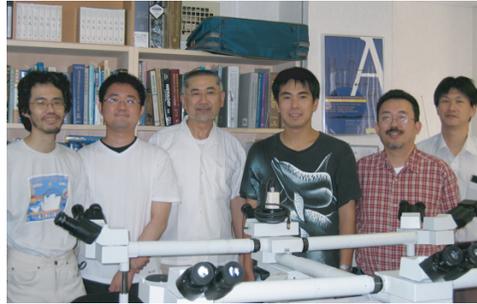
8月22日(日) エーザイホール(東京)にて



今月の研修生をご紹介します。

福本 隆也先生(奈良県立奈良病院皮膚科) 左から1人目

岡本 武先生(海上自衛隊潜水医学実験隊) 右から3人目



井上 智子先生(京都府立医科大学皮膚科) 前列左端

川上 佳夫先生(福島県立医科大学皮膚科) 後列左から2人目



岡本武先生の研修日記

今回7月26日から7月30日の間研修を受け札幌皮膚病理研究所に来ました。昨年8月から2回目の研修となります。前回と比べて変わったと感じたことは、1日に見る検体数がかなり増えていることでした。昨年度も研修を受けたとき検体数が多く大変充実したのですが今回の研修ではそれをかなり上回り充実この上ないといった感じでした。その検体についても炎症性疾患から良性、悪性の腫瘍、リンフォーマとバリエーションに富み、たった5日間で大病院の検体の1年間分を見るといった感じでした。しかも1例1例を木村先生の丁寧な説明が付き、今まで理解できていなかったことが晴れて札幌を去るといった感じでした。

研究所には塩見先生や安齋先生といった強力なスタッフが加わり、検体数も増え、ますます皮膚病理研究所が発展していくのが感じられました。また皮膚病理研究所に研修を受けに来たいと思いますので宜しくお願いします。

セミナー開催のお知らせ

第12回札幌皮膚病理セミナー

～世界の皮膚病理学と皮膚病理医～ (東京)

講師; Philip E. LeBoit, M.D.
Professor of Clinical Pathology and
Dermatopathology, University of
California San Francisco
American Journal of
Dermatopathology 編集長



特別講演 10月29日(金) 19時より
(参加費無料)

セミナー 10月30日(土) 8時～17時
31日(日) 8時～15時
(参加費3万2千円)

会場: 慶應義塾大学医学部 東校舎講堂
共催: 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室

講演内容; (予定)

- 1 Compare your diagnosis with Dr. LeBoit ;
当研究所の標本で興味深い症例をご紹介します。
- 2 Consultation to the expert ;
その場でPhil先生にコンサルテーション症例の診断をつけていただきます。
- 3 Great cases from University of California San Francisco ;
Phil先生よりUniversity of California, San Franciscoからの症例紹介をしていただきます。
- 4 Dr. LeBoit's new concepts and ideas in Dermatopathology ;
Phil先生のnewコンセプト・newアイデアをご紹介します。

皮膚病理指導医養成講座(年6回連続講座 東京)

研修医を指導するために必要な皮膚病理学

第4回目 10月 23日(土): 腫瘍性皮膚疾患 1

第5回目 12月 11日(土): 腫瘍性皮膚疾患 2

第6回目 2月 5日(土): 腫瘍性皮膚疾患 3

いずれも9時～17時

会場: 山王病院 山王ホール(東京都港区)

皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座

手術切除される頻度の高い皮膚腫瘍の病理組織像の解説と
手術方法や切除範囲の検討

大阪会場: 2004年 10月 10日(日) 大阪市立大学 大講義室
後援: 大阪市立大学 皮膚科学教室

札幌会場: 2004年 11月 21日(日) 北海道大学 臨床大講堂
いずれも10時～16時

ただいま、参加お申し込み受付中です。
ホームページ、E-mail、ファックスにてお申し込み下さい